

施設関係者評価委員会

「自己評価シート」

日時:2025年2月27日(木)9:30~12:00

場所:大森ルーテル幼稚園 礼拝堂

【評価者】

他園幼稚園園長 1名 幼稚園運営委員 1名 自園保護者 2名 自園園長 園長補佐兼事務長

【学校関係者評価】

学校関係者評価は、保護者、地域住民などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行う。

1. 本園の教育理念

「心を育む」「ありのままのあなたが愛されている」「遊びが大切」

2. 本年度の取り組み目標と取り組み状況

- ① 幼稚園の ICT 化。
- ② コロナ禍で合理化してきた行事や、その他保育のことを今一度見直し、よりよい物へとしていく。
- ③ 手紙の内容をより分かりやすく明確にする。
- ④ 保育の質の向上に常に努めるよう研修等参加していく。

高←低

評価項目への取り組みと達成状況

評価:A B C

評価項目	取組状況	評価
① 幼稚園の ICT 化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手紙や、毎月の園だより、お知らせ等コドモンアプリを用いて、データでお知らせするようにしている。 ■ 紙の削減、職員の業務改善にもつながっている。 ■ 今後は給食注文を業者のアプリを使用し、保護者と業者間で注文のやり取りをし、保護者口座から引き落とされるよう調整している。注文漏れ、集金間違い等のリスクを軽減する狙いがある。 ■ 個人で保存していた各クラス、共有等のデータ類をクラウドで一元管理するようにしている。 ■ USB 等の保存媒体の場合 1 名のみ編集可能だが、クラウドにすることで、どのタイミングでも各々が編集できるようになる。 ■ 会計管理ソフトの導入等は 2026 年度を目指し進めていく。 	A
② コロナ禍で合理化してきた行事や、その他保育のことを今一度見直し、よりよい物へとしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運動会を今までの午前午後開催から午前開催に変更し、実施した。改善点も見られたが概ね順調に進行していった。2025 年度は 2024 年度の内容を活かしつつ、未就園児クラスの競技をより充実させていく。 ■ 保育内容の見直しによって、一斉活動等の製作に課題が出てきている。各年代の終わりに成長してほしい姿や、目標を各担任や周りの職員が意識し、職員一緒に取り組んでいきたい。 ■ 共働き世帯が増え、保護者への負担が軽減されるよう意識して行事に取り組んできたが、意識しすぎたことで自園が大切にする、保護者同士の密な関わりや、お互いを尊重し合うよう 	B

	な関係作り、幼稚園らしさが希薄になってしまった様に感じる。大切にすべきことを、したいことに目を向けられなくなると、保育をサービスとして提供してしまいそうになることに注意したい。	
③ 手紙の内容をより分かりやすく明確にする。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文章を簡潔にし、伝えたいことがしっかりと伝わるようにした。 ■ 手紙の見た目もできる限り、見やすく目を引かれやすいものへと変更する等工夫している。 ■ 昔の手紙の様に分かってくれるだろうというような内容にせず、細かに説明し、どの保護者も一律に理解できるように注意した。 ■ 手紙やアンケートを保護者に提示する時期が遅かったり、詳細が分かりにくかったり等もあった。次年度への反省とする。 	B
④ 保育の質の向上に常に努めるよう研修等参加していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度も職員には多くの研修に参加していただいた。本園は各職員に研修参加レポート等の提出は求めているが、研修で学んだことを日常の会話の中で共有したり、保育に実践したりという姿が見られている。 ■ 今年度預かりの責任職員にカリキュラムに参加していただき、クラスでの園児の様子をお伝えするとともに、預かりでの園児の様子を共有していただいた。各時間の子ども様子を共有できている。 ■ 全職員対象の内部研修を実施し、子ども理解に努めている。常勤、非常勤関係なく子どもに携わる者として、勉強をし、事例を話し、感じたことをグループワーク等で共有している。 ■ 内部研修を通じて、当園が大切にしている教育理念を職員全員が理解し実行できるよう努めている。 ■ 毎月の補助の先生の打ち合わせ、管理職会議、事務の打ち合わせ、カリキュラム、日々の情報共有等を通じて保育の質の向上、職員の質の向上に努めている。 	A

3. 総合的な評価

評価	理由
A	<p>自己評価に関しては上記に記載の通り概ね達成できたと感じています。A の評価をつけた取り組みに関しても、更なる向上を目指していきたいと思えます。</p> <p>大森ルーテル幼稚園として今年度は新たに森田先生を招聘し、始まった年です。前任者の成してきたことへの重圧もある中、1年間を駆け抜けていったと思えます。</p> <p>コロナ化により、行事の内容変更、保育の内容変更をしていきました。良いところや新しい発見もある中、見直しが必要なことも見えてきました。</p> <p>また、コロナ化とは別に保護者がいかに快適に幼稚園を利用できるかということに重点が置かれた数年間でもありました。こちらが良いこともあれば、幼稚園として大切にすべきことは何かを考え、改善する必要があることも感じています。</p>

4. 施設関係者評価委員の意見

- ・ 入園説明会は年 3 回から回数を増やしてもよいかもしれない。11 月前の 8・9・10 月は毎月実施する等考えてもよいかもしれない。
- ・ 幼稚園に入る前の段階で園の雰囲気を知ってもらうように努力していく。園庭開放や、未就園児クラス、子ども子育て交流会等
- ・ 0-2 歳向けに園庭開放するのもよいかもしれない。
- ・ 写真掲載の同意を確認する際は細かい設定を設けるのではなく、顔出して OK か NG かで同意をいただくといいかも。
- ・ 運動会午前中で短時間になって、親として助かった。年長さんのかけっこがあるとよかった。基本的には先生方が準備等も中心になっていただいていたが、保護者のお手伝いがもう少しあっても良い気がする。
- ・ 運動会は予備日があるより、1 日で完結するほうが良い。
- ・ フェスタの規模は 24 年度の内容で、保護者の手伝いは全員に戻したらどうか。
- ・ 父親の会があるのなら、学校関係者評価に父親にも参加してもらってはどうか。
- ・ 先生方のクラスでの子どもとの関わりの様子
年少は一人一人の関わりが、ふれあいを通して密になっているなど思った。
年中は遊びを一緒にしながらも、全体を見ているなど感じた。
年長はそれぞれの遊びで必要な物を、必要な時に適切に援助をしていると思う。
危険なことも自分が考えられるような声掛けをしているなど感じた。
- ・ 自分の子どもが入園前の時は、小さい子が色々なクラスに行って遊ぶのは不安だったが、今は兄弟の様に異年齢で関わられてよかったと思っている。
- ・ 給食の写真の掲載が、子どもとの会話になって食育につながったので再開できると良い。
- ・ 預かり保育の発信方法をよりしっかり伝えていく。
- ・ 園庭開放を実施するのであれば、在園児との時間配分を考える必要があるかもしれない。
- ・ 昨年より園内（保育室など）がきれいに整えられていた印象があります。片付け方？
- ・ 自己評価表を A-D で自己評価を数値するのは、とてもよいと思います。園が求めている保育内容や働きの内容（仕方）を伝えることになるので、とてもいいと思う。自園でも取り入れたいと思います。
- ・ 幼稚園の教育方針が保護者に浸透していると思います。
- ・ 園からの発信や通信の仕方は難しいですね。自園もペーパーレスをしすぎて、行事の狙いや、やり方、他の学年の動きなどが分かりづらくなってしまったので反省しているところです。
- ・ さらに預かりの充実を目指し、預かり保育の良さを利用して保護者に発信できるとよい。
- ・ 預かり保育のアンケートがあっても良いかもしれない。
- ・ さびしい思いをしている子へのケアや、それを援助する先生方の保育向上のため、良い先生を育ててほしい。

5. 来年度の目標

1. 幼稚園の情報発信

(園運営や、保育内容、発達障害についての取り組み・情報発信、感染症に関する情報、子育てに関する情報発信)

2. 保育の質の向上に常に努めるよう研修等参加していく。

3. 幼稚園が目指す保育を、全職員間で情報共有していく。